Vol.2021-NL-247 No.6
2021/3/3

統語的多義性と韻律情報の理解：大人と子供の比較

広瀬　友紀[,a)]

概要：自然言語処理研究と心理言語学研究においては，その目指す方向性は異なることもあれど，着目する現象は共通することも多く、統語的多義性もその一つである。本講演では、[a[b c]] vs. [[a b]c] という枝分かれ多義性をとりあげ、その解釈バイアスや、また音声言語における韻律情報の役割や韻律情報自体の多義性について、成人と子供の処理のありかたの違いという観点から検討する。入力の漸時性や、処理において用いられる情報の発達段階に応じた変化等について考え、遠回りをしながらも、自然言語処理研究と心理言語学研究がお互いにどのような示唆をもたらすかという問いにもつなげることができたらと考える。

[1] 東京大学
[a)] hirose@boz.c.u-tokyo.ac.jp

ⓒ 2021 Information Processing Society of Japan